

2021年5月18日

各位

株式会社リボミック
(コード番号：4591 東証マザーズ)

2021年3月期決算説明会（質疑応答）

2021年5月14日（金）開催のアナリスト、機関投資家向け2021年3月期決算説明会における質疑応答を記載させていただきます。

尚、決算説明会の内容につきましては、本日掲載しました関連資料並びに動画をご高覧願います。

1. RBM-007（滲出型加齢黄斑変性）の開発について

質問	回答
RAMEN試験の進捗はどの程度ですか？	まもなく計画のほぼ半分の患者登録となる見込みです。
スライド23ページのGLOBE NEWSWIREの配信記事の中で、RIBOMIC USAのRBM-007がリストのトップにあがっていますが、それとは別にABP 938、KSI-301、OPT-302、RGX-314が上市に近いと予想されているようです。このあたりの状況をご説明をお願いします。	この配信記事はDelveInsight社のwet AMD治療薬の開発状況に関するレポートの要点を取り上げたものです。世界で進められている70超の企業による70超の開発品目について調査したもので、ご指摘の4剤（ABP 938、KSI-301、OPT-302、RGX-314）はいずれも既存薬と同じ標的VEGFを狙った医薬品で、抗VEGF阻害剤を改変したり、finetuningした薬剤で臨床試験の最終ステージにあり、上市も近いだろうと予測されています。リストにはDelveInsight社が今後注目すべきと選定した8品目を取り上げられており、当社のRBM-007がリストのトップに記載されているのは、RBM-007が既存薬とは全く異なる作用機序（MoA）の新薬だということが評価されてのことであろうと考えています。

2. コロナ治療薬の開発について

質問	回答
今週10日に開示されたコロナ治療薬開発の進捗報告によれば、作ったアダマブの阻害度が十分ではないようですが、その理由としてアダマブの特異性が高すぎてSタンパク質の局所にピンポイントで結合するためにACE2受容体への結合を完全には阻害しきれないという可能性はありませんか？	的確なご質問です。我々もその可能性を想定して対策を進めています。これまでに取れた複数のヒット化合物（アダマブ）は、ウイルスSタンパク質のRBDというACE2結合部位に結合することは明らかになっているので、アダマブに「かさ（サイズ）」の大きな化合物を付加して立体障害による阻害増強を検討しています。具体的には、アダマブの体内動態を向上させる目的で付加するPEG（ポリエチレングリコール）という化合物はさまざまなサイズが揃っているため、それらアダマブに結合して阻害効果を調べた結果、大きな「かさ」のPEG付加が阻害作用の増強に顕著な効果があることがわかりました。そのため、40KというサイズのPEGを付加したアダマブの薬理作用の検証を進めているところです。その結果、期待する阻害効果が明らかになれば、動物の感染実験で薬理試験を実施する計画です。立体障害を目的としたPEG以外にも、ウイルスのクリアランスを誘導するような化合物の付加についても検討したいと考えております。

3. その他

質問	回答
スライド12ページの公的助成金について、事業収益か営業外収益かについて教えてください。	3件の公的助成金のうち、1件目と3件目は営業外収益ですが、2件目については国立循環器病センターからの再委託によるもので事業収益となっています。

以 上